
夕陽に映る千景

はおく はじめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夕陽に映る千景

【Nコード】

N8091Z

【作者名】

はおく はじめ

【あらすじ】

ずいぶん昔の物語。バイト先で知り合った大学生と高校生の切なく淡く不器用な恋愛と運命のイタズラを書いてみました。

第一章 「出会い」

俺が千景に初めて会ったのは、バイト仲間でボーリング行こうかと相談してる時だった。

俺の前を新人らしい子が通ったので「ねーボーリング行かない？」と言うと「今日は兄の誕生日なので行けません」そんな返事が妙に印象に残った。その後はシフトも合わず会えない日が続いていた。

バイト先は全国チェーンで年に一回、店同士でクオリティを競うコンテストが催されていた。そしてその年はうちの店が選ばれ、相手も知らされた。コンテストは顔も知らないスーパーバイザーが突然やって来て色々な角度から点数を付けるシステムだった。

その為ベストメンバーを選び、シフトとは関係なくバツクルームで審査員を待っていた。俺はそのスタメンに入っていたが、もちろん千景は入っていなかった。

毎日毎日緊張して審査員を待つ日が続き、俺たち7人もやや疲れ始めて来たが、そんな俺たちを笑わせてくれたのが千景だった。第2章 「千景が店に来ない」に続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8091z/>

夕陽に映る千景

2011年12月25日21時47分発行